環境にっこう KANKYO NIKKO

No.15

2013/1

発　行　日光市役所産業環境部環境課
〒321-1292
今市本町１番地（本庁第４庁舎１階）
TEL 21-5152　FAX 21-2089
Eメール　kankyou@city.nikko.lg.jp

家族の力で節電を！
冬の“うちエコ”運動 参加者募集!!

寒冷地である日光は冬に電力消費量がピークを迎え、電力不足が心配されます。今冬は節電の数値目標はありませんが、ご家族で節電に取り組む冬の“うちエコ”運動に参加してみませんか？

内　容

普段の生活の中、無理のない範囲で節電にチャレンジしてください。特に、平日９時～21時の取り組みをお願いします。

運動実施期間

平成25年１月４日(金)から３月29日(金)まで

賞　品

１月分の節電実績により、次の部門ごとに上位30名の方に、努力賞として３千円相当の賞品を贈呈します。

※賞品はいずれか一部門とさせていただきます。

◇削減部門
昨年と比較した電気使用量の減少率

◇エコライフ部門
一人一日あたりの電気使用量

応募方法

下記の応募用紙に必要事項を記入のうえ、平成25年１月分の「電力使用量のお知らせ」(コピー可)を貼付し、日光市環境課へ持参・郵送・FAXでご応募ください。

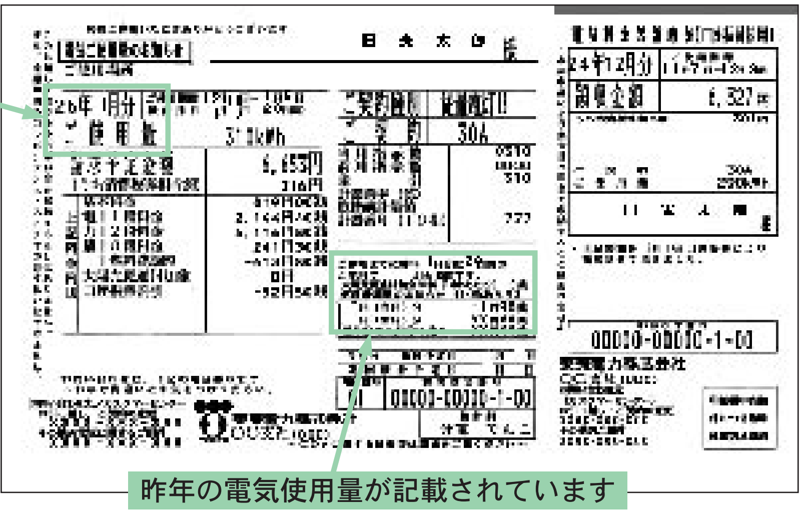
応募締め切り

平成25年２月15日(金)

冬の“うちエコ”運動　応募用紙　【平成２５年２月１５日(金)当日消印有効】

のりしろ

平成25年１月分であるか確認してください。



昨年の電気使用量が記載されています

○ 応募に関する注意事項

・応募に係る個人情報は、応募者への“うちエコ”運動に関する事項の通知及び応募事例に関する問い合わせに限り使用し、他の目的で使用することはありません。
・家族の人数が大幅に減ったなど、電気使用量の削減の大部分が省エネ以外の要因によると判断される場合には、評価の対象外となる場合があります。
・応募内容は公表を前提として取り扱います。
・応募された資料(応募用紙や検針票等)は返却しません。
・応募内容の発表に係る著作権は、全て日光市に帰属するものとします。
・応募にあたり、虚偽の記載などがあった場合は失格となります。

●代表者氏名	●住所
●電話番号	●家族構成　　人【大人(中学生以上)　　人　子ども　人】
●特に取り組んだこと、取り組んで効果があったと思ったことを記入してください。	

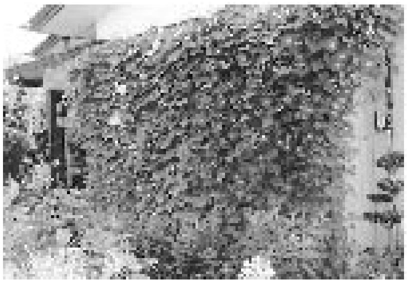
切り取り線

第1回 緑のカーテンコンテスト結果発表！

夏の節電対策として、7月から8月に「緑のカーテンコンテスト」を実施しました。
初めての試みにも関わらず、家庭部門では14点、店舗・事業者・団体等部門では2点の応募がありました。みなさんありがとうございました。

家庭部門

【最優秀賞】□佐々木　君江 さん（土沢）
朝顔のカーテン

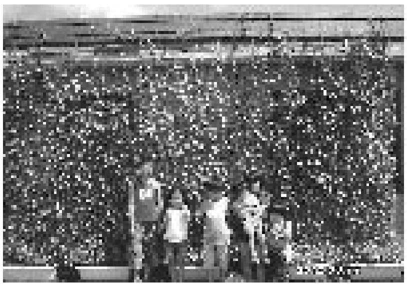


「夏の強い西日を遮ってくれ、朝顔の葉の隙間からは、涼しい風が室内に入ってきました。朝早く起き、水をあげると自分も元気がもらえます。」
（応募用紙より）

【優秀賞】□
沼尾　信好 さん（川室）
中村　悦子 さん（森友）
松崎　博 さん（千本木）
菊地　裕子 さん（板橋）
戸田　サダ さん（鬼怒川温泉大原）

店舗・事業者・団体等部門

【最優秀賞】ヤクルト大沢センター さん（土沢）
朝顔のカーテン



「朝顔を子供達と一緒に蒔いて成長を観察でき、きれいで心が和みます。木漏れ日がキラキラ差し込み、壁に影が映り、猛暑を爽やかな気持ちで乗り越えられました。」
（応募用紙より）

【優秀賞】□ そば処大丸 さん（平ヶ崎）

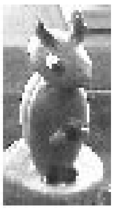
緑のカーテンの設置によって、①日差しを遮る、②部屋が緑で明るい、③心が和む、④収穫を楽しめる、⑤家族や道行く人と話しが弾むなどの効果が寄せられました。
みなさんも「緑のカーテン」を家庭で作ってみませんか？

ぜひ、ご家族で

鳥の観察会 に参加してみませんか？

昨年行われた鳥の観察会の様子

内　容	日光だいや川公園で野鳥の観察 クリーンセンターで木工工作
集合場所	日光市クリーンセンター（日光市千本木９４５―１）
日　時	平成２５年２月１７日(日)　８:１５～１２:３０



みんなで楽しく工作しよう！

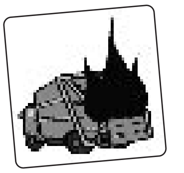
対　象	市内小学生と保護者
料　金	無料
定　員	２５名(保護者含む)　※先着順になります
申　込	平成２５年１月４日(金)から１月３１日(木)まで ※申込及び問合わせは日光市役所環境課まで

ごみが発火する事故が多発しています！

【発火の原因】
殺虫剤やヘアスプレーなどのエアゾール缶や使い捨てライター、カセットボンベなどには、圧縮された可燃性ガスが充填されています。可燃性ガスが缶に残ったままごみとして捨てられると、ごみ収集車やごみ処理施設で圧縮された際にガスが漏れ出します。このガスに金属同士の接触で生じた火花が引火すると、ごみが燃え上がる火災事故につながってしまいます。

【火災などの事故が発生すると】
ごみ収集車で火災が発生すると、ごみの収集が予定どおり行えなくなってしまいます。また、人命に関わる大きな事故の発生やごみの収集、処理が停止してしまいます。安定したごみ処理のためにも、ごみは適切に分別して出してください。

【悪質な不適正排出は罰せられます】
ごみステーションに分別しないごみや中身の入ったガス缶、ライターを出すなどの不適正排出は、重大な事故につながります。また、悪質な場合には、不法投棄として処罰されます。

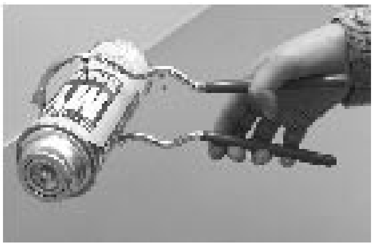


くわしくは
廃棄物対策課
☎(21)5138

ガスの抜き方

カセット式ガスボンベやスプレー缶、ライターなどをごみとして出す場合は、次のとおり、ガスを抜いて燃えないごみの日に出してください。

エアゾール缶、カセットボンベ



中身を使い切った後、完全にガスを抜くために穴を空けてください。
※穴を空けるときは、風通しのよい屋外などで付近に火気がないことを確認したうえで作業してください。
※ほぼすべてのエアゾール製品には「ガス抜きキャップ（中身排出機構）」がついています。商品に記された説明に従って作業してください。
※やむを得ず使いきれない場合は、ボンベ本体に記載されているメーカーまたは（社）日本ガス石油機器工業会「カセットボンベお客様センター（電話０１２０－１４－９９９６）」にお問合せください。

使い捨てライター

操作レバーを押し下げて「シュー」という音が聞こえないことを確認してください。
※ガスを抜く場合は、操作レバーを輪ゴムや粘着テープで固定すると便利です。

市内の水環境について

日光市の河川は、足尾地域を水源とする渡良瀬川と、栗山・藤原地域の山地を水源とする鬼怒川の２つの水系に分けられます。日光市は、この２つの水系の元となる支流が数多く存在し、源流域・水源域として位置しています。

また、中禅寺湖や鬼怒沼などの湖沼、湿原、数多く渓流、湧水があり、日光市は水辺景観や水環境に非常に恵まれています。

□は本庁及び市役所総合支所

汚染防止のための監視

市では工場、ゴルフ場、地下水、河川の調査を行っています。

今回は平成23年度に調査した15河川25地点の水質調査結果についてお知らせします。

河川水は概ね良好な水質です

測定結果

◎ＢＯＤ（生物化学的酸素要求量）

環境基準を達成している割合（以下達成率）は河川全体で99％と、平成22年度と比較すると高い値でした。

◎大腸菌群数

達成率は河川全体で26％で、平成22年度と同様に低い値でした。

◎その他の項目

すべて基準を達成しました。

■表　水質調査実施状況

調査対象	大谷川（和の代・七里大橋上流・関の沢大橋上流）、鬼怒川、渡良瀬川（渡良瀬橋付近・遠下橋付近）、古大谷川、砥川、小百川、赤堀川、田川、行川、武子川、清水川、湯川支流を含み４地点、大谷川支流３河川、湯西川、男鹿川、栗山地域鬼怒川２地点
調査項目（環境基準項目）	**生活環境項目** PH、BOD、SS、溶存酸素量、大腸菌群数（計５項目） **健康項目（有害物質）** カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、ひ素、総水銀、アルキル水銀、ポリ塩化ビフェニール、ジクロロメタンなど（計２６項目）

日光の水を守るため

日光市の河川は、法律では最もきれいな水質を目標とする区域として位置づけられています。そのため市内の協定工場は県内の他の地域よりも厳しい基準値を設定し、水質浄化に努めています。

現在のところは概ね良好な水質が保たれていますが、大腸菌群数の値から見て、人の生活活動による影響が考えられます。

ジュースの残りやゴミなどを河川に投げ捨てず、国際観光文化都市日光の水環境を守りましょう。

市内放射線量は約15％減少

日光市では市内を１キロ四方に区切り、５３８ヶ所で地上１メートルの空間放射線量を定期的に測定しています。１０月（７月２６日から９月２０日の期間に測定）の値は、４月の値に比べて市全体で約１５％減少しました。

測定したデータは放射線マップとしてまとめ、公共施設やホームページで公開しています。

☞ http://www.city.nikko.lg.jp/kankyou/gyousei/jishin/rdmap.html

※ＢＯＤとは微生物が水の汚れを分解するのに必要な酸素の量のことをいい、水の汚れを表す指標のひとつです。